

令和3年7月30日

保護者の皆様

大田市立朝波小学校
校長 小松原 弘之
理科主任 藤井 美帆

科学研究および科学工作について

大暑の候 保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申しあげます。平素より本校の教育活動に対しまして、ご理解ご協力をいただき厚くお礼申しあげます。

さて、今年の「大田市小中学校 科学作品展」が下記のとおり行われます。例年各校から、夏休み中の科学研究や科学工作を中心に出品されています。科学研究や科学工作に取り組むことは、好奇心や思考力を高めたり、追究する楽しさを味わったりすることができ、貴重な体験となります。お子さんが科学研究や科学工作に取り組まれることをお勧めします。多くの児童生徒の取り組みを期待しています。

その際、学年にふさわしい方法で観察や実験、工作に取り組み、しっかりと記録を残しておくことが大切です。下の「島根県科学作品展審査基準」・「日本学生科学賞審査基準」を参照ください。

また、科学作品展に出品する場合には、決められた規格にまとめてあることが必要です。出品規格が守られていないと、書き直しが必要な場合もあります。出品規格等をお知らせしますので、ご確認ください。（市科学作品展で選ばれ県展に出品となった場合、規格外の作品は審査対象になりません。）

不明な点や、相談等がありましたら、遠慮なく〇〇までお問い合わせください。

記

1 大田市小中学校児童生徒科学作品展

(1) 公開期日 令和3年9月18日(土) 10:00~16:00

19日(日) 10:00~15:00

(2) 会場 国立三瓶青少年交流の家 (大田市山口町山口1638-12)

2 審査基準

島根県科学作品展審査基準

- 1 研究主題は児童、生徒の日常生活の中で不思議に思ったこと、あるいは普段の理科学習から発展したもの等で、斬新さがあり、研究動機に児童・生徒自身の心に湧き出した必然性が感じられるものであること。
- 2 研究方法に児童、生徒らしい思いつきや工夫のあとがうかがわれ、実際に観察や実験したことがはっきりとまとめられていること。
- 3 工作物の場合は、身近な道具をより便利なものにするため、その構造やはたらきに児童、生徒らしい工夫がなされていること。
- 4 過度な大人の関与が感じられる作品については、審査員の協議により審査対象外とすることもあるので注意すること。
- 5 出品規格が遵守されていること。

日本学生科学賞審査基準 (中学生の作品が対象)

- 1 出品物はあくまでも生徒自身の発案によって研究、記録、観察実験がなされたものであること。
- 2 内容は独創的であること。創意工夫によるものや、新しい発見にもとづく研究物作品であることが望ましい。また、その研究、制作の過程においても材料や資料の選び方が適当でその使い方が妥当であること。
- 3 研究方法が科学的で、観察、実験、記録、収録などが適切正確に行われていること。また、継続的努力によるものや、発展性を持つ研究が望ましい。
- 4 表現方法、展示効果等が優れているものが望ましい。

3 出品規格等

島根県科学作品展の出品規格に準じます。

- | | |
|-------|--|
| 出品する物 | ○ 模造紙 1 枚 (縦 1 1 0 cm, 横 8 0 cm) …… 研究概要をまとめたもの。 |
| | ○ 論文 1 部 …… A 4 判 4 0 0 字詰め原稿用紙 (横書き用)
※小学校低学年はA 4 判でなくてもよい。 |
| | ○ 資料 …… 観察や実験の記録, 標本等。必要な場合のみ。 |

校種	学年等	模造紙	論文 (表紙を除く)	留意事項	
小学校	低学年	手書き	手書き	1 2 枚まで ※A 4 判以外も可	①参考文献は論文に明記すること。 ②具体的な商品名は記載しないこと。 ③資料は別に添付すること。 大きさは原則として80cm×45cm以内で 展示可能なものであること。 過去の模造紙を資料として提出する場合は、写真に撮るなどして、資料の一部として添付すること。 ④展示会場の電源は使用できないので注意すること。 (発電機の持込も不可)
	中学年	手書き	手書き	1 8 枚まで	
	高学年	手書き	手書き または パソコン等	2 4 枚まで	
中学校		手書きまたは パソコン等 20インチ以上	手書き または パソコン等	3 0 枚まで	

※中学校については日本学生科学賞全国展へ出品する際、PDF、Microsoft Office Word または一太郎にて作成した上限 5000 字程度の論文形式のレポートを提出することになったため、パソコンやワープロ等で印字することが望ましい。

模造紙にまとめるときの参考例

表題 ○ ○ ○ ○ ○○ 学校 ○ 年 ○○○○
1 研究の動機 (調べようと思ったわけ)
2 研究の目的
3 研究の方法 (観察や実験等の方法)
4 研究の結果
5 研究のまとめ (わかったこと)
6 感想

※ スケッチや写真, グラフ等を効果的に使用する。